

2020年5月20日

KESTES サポーター様 KESTES をご支援下さっている皆様

ケニア JICA 海外協力隊有志で組織する奨学金給付団体
(略称：KESTES)

活動資金の盗難について（お詫び）

謹啓

日頃よりケニア JICA 海外協力隊有志で組織する奨学金給付団体（略称：KESTES）の活動に対しご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年3月16日、ケニア国内の隊員連絡所に保管していた KESTES の活動資金が盗難されていることが発覚しました。

ご支援下さる皆様からご寄付頂いた、心のこもった大切な資金が盗難によって失われてしまったこと、皆様の気持ちや想いを傷つけてしまったことを心からお詫び申し上げます。

また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、KESTES ケニアの全会員（運営メンバー）を含むケニアに赴任中の JICA 海外協力隊員が3月末にケニアを緊急出国しなければならず、盗難に関する事実関係の調査に時間を要したことから、ご報告が遅くなってしまいました。重ねて深くお詫び申し上げます。詳細につきましては下記をご参照下さいますようお願いいたします。

当団体では、従前より資金管理を厳重に行うよう努めてまいりましたが、盗難対策としては不十分であったことを痛感し、今回の盗難を重く受け止めております。今後は、信頼回復のため、会員一丸となって再発防止対策を講じ、二度とこのようなことがないように誠心誠意活動してまいりますので、どうかこれからもご指導ご鞭撻を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

敬具

記

1. 盗難発覚日時
2020年3月16日（月）
2. 発生場所
ナイロビ市内にある隊員連絡所（男子ドミトリー内ロッカー）
3. 盗難金額
224,000 ケニアシリング（日本円で約 224,000 円）
4. 経緯
2020年1月24日
KESTES 活動経費の精算を実施。精算実施後、224,000 ケニアシリングがあることを確認したうえで、資金をロッカーに保管。ロッカーはダイヤル式の南京錠で施錠。
2020年3月16日
新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急帰国のため、ロッカーに保管していた資金を確認したところ、224,000 ケニアシリングが無くなっていることが判明
2020年3月27日
ケニア警察に被害届を提出
5. 活動資金の保管経緯：別紙参照
6. 再発防止対策
今回の盗難発生の要因を分析した上で、組織の運営体制や資金の管理方法を見直し、再発の防止に務めます。（詳細は別紙参照）

7. 盗難された資金の補填

盗難金額の全額を KESTES 運営関係者で補填致します。

8. その他

現在、COVID-19 の感染拡大を受けて、国際協力機構（JICA）の方針により、ケニアで活動する全ての隊員が日本へ一時帰国しております。現在支援している 7 名の奨学生については、帰国前に奨学生に直接状況を説明し、日程を前倒しして 2020 年 12 月末までの奨学金の支援を完了いたしました。今後の KESTES の活動については、新型コロナウイルスの状況や JICA の方針を踏まえて、検討しております。サポーターの皆様には、今後広報誌「はらんべえ・れお」などを通してご報告させていただきます。

9. お問い合わせ先

kesteskenya@gmail.com

ホームページお問い合わせフォーム (<https://www.kestes.org/otoiawase/>)

(別紙添付資料)

【報告書】KESTES 活動資金の盗難についての報告

以上